

令和4年7月22日

### 夏季休業前全校集会

賞状伝達式に続き夏季休業前全校集会をオンラインで行い、学校長講話として4つのことを話した。

まず1つ目は授業見学での様子である。全教室に行ったが、掲示物や荷物等の教室の環境整備はとても良好であること。全体的に真面目に授業を受けている様子が見られたこと。特に3-2の英語の授業、1-6の音楽や生物の授業がとても素晴らしかったことを話し、今後も積極的な学習を求めた。

2つ目は部活動について。2年生が主体になっていくが3年生は技術だけでなく学校生活面でも誇りある先輩でいてくれることを期待する。

3つ目は中学校訪問について。各中学校の校長先生は卒業生の現在の様子を聞いてうれしそうである。ぜひ、中学校へ遊びに行ってもらいたい。

4つ目は、壁について。高校に入学していろいろな壁に直面して己の大きさに気づいてきたと思う。そこでどう対応するかが大事である。悩みつつ少しでも前進（物理的な意味だけでなく）してほしい。

「臥薪嘗胆」は復讐から生まれた言葉であるが、時には自分を褒めたりしながら「それぞれの臥薪嘗胆」を思い描いて頑張ってくれることを期待する。

最後に「藤高プライド」藤高生として誇りある行動を期待し、休業後の元気な再会を願った。

その後、生徒指導部長の小松崎先生が交通ルールの遵守と「自転車保険」について話した。自転車は事故時に被害者はもちろん加害者にもなり得ることを丁寧に説明した。本校では、現在、約8割が加入しているが、保護者の保険に付帯されているかもしれないので、確認することと全員の加入を今後の自転車通学の条件にしていきたい旨の話をして集会を終了した。